

請願・陳情等の受理状況について

平成29年11月10日

ア 京丹後市福祉サービス事業者協議会からの要望書について

京丹後市福祉サービス事業者協議会
会長 石河 良一郎

請	願	書	0	件
要	請	書	1	件
	計		1	件

(報告)

京丹後市福祉サービス事業者協議会からの要望書について

京丹後市福祉サービス事業者協議会から要望書が提出されましたので、下記のとおり報告します。

平成29年11月10日

教育長 橋本 幸三

記

1 提出日

平成29年10月10日

2 提出者

京丹後市福祉サービス事業者協議会 会長 石河 良一郎

3 要望内容

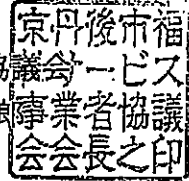
京都府立久美浜高等学校・総合学科福祉系列の存続について



平成29年10月10日

京都府教育委員会
教育長 橋本 幸三 様

京丹後市福祉サービス事業者協議会
会長 石河 良一郎



京都府立久美浜高等学校・総合学科福祉系列の存続に に関する要望書の提出について

日頃から、当事業者協議会の事業活動につきまして、格別のご理解、ご支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、京丹後市内の高齢者福祉、障害者福祉施設に携わる事業者は、高齢者・障害者に対し誠心誠意かつ適正なサービス提供を行うために、当協議会に多くの事業者が参画し、自主的に毎月会合を開き、専門分野に分かれて様々な活動や支援を実施しているところでございます。

しかしながら、その活動の推進や、事業の展開に欠かすことのできない良質な人材の確保がままならず、非常に苦勞をしている現状でございます。

そのような中、「丹後地域の高校の在り方NEWS【NO.4平成29年3月】」によると、学舎制の導入の説明の中で、加悦谷高等学校は国際や福祉・看護等の新しい教育内容も検討すると記載されており、久美浜高等学校は、総合学科生産科学系列の教育内容を継承・発展させ、学舎間で連携した地域産業（観光・農業等）の振興に資する教育の在り方を検討するとされています。

今後、高校再編を進める中で、久美浜高等学校・総合学科福祉系列が加悦谷高等学校に設置され、久美浜高等学校から福祉系列が無くなるということになれば、京丹後市の福祉事業者にとって非常に厳しい現状の中で、さらに、安定的なサービス提供するための人材確保が困難な状況になるという懸念があります。

上記のような点を考慮していただき、別紙のとおり「要望書」を提出いたしますので、配慮ある対策、対応を講じていただきますようお願いいたします。

要 望 書

京都府立久美浜高等学校・総合学科福祉系列の存続について

介護現場の人手不足は、年々深刻化しています。地域包括ケアの重点化ポイントとなる「重度者対応」と「認知症対応」を進めるうえで、それを担えるだけの人材確保はまさに急務であると考えます。

しかし、必要な人材が確保できず、やむを得ず事業を縮小したり、施設は建てたがなかなかフルオープンできない事例があるのが京丹後市内事業者の現状です。

そのような中、京都府では福祉人材確保支援事業として、福知山市では「介護・福祉人材養成センター」、舞鶴市では「舞鶴YMCA国際福祉専門学校」、宮津市では「京都府北部福祉人材養成システム総合実習センター」等の整備に対する支援を実施され、人材確保に繋がる支援策を強化していただいています。

しかしながら、京丹後市には、そのような福祉人材育成施設がなく、久美浜高等学校・総合学科福祉系列が、今後も京丹後市内の福祉人材確保に繋がっていくものと期待しているところです。

京丹後市福祉サービス事業者協議会では、今後も久美浜高等学校生徒の実習の受入等について、引き続き協力をさせていただこうと考えています。

つきましては、今後協議が進められる丹後地域の高校の在り方についての検討の中で、京丹後市内福祉サービス事業所の福祉人材不足の厳しい現状を考慮していただき、久美浜高等学校・総合学科福祉系列を、現状のまま存続し、福祉人材育成の貴重な教育が受けられる環境の継続をお願いします。

以上、よろしくごお願い申し上げます。

丹後地域の高校の在り方NEWS

【NO.4 平成29年3月】

再編の基本的な方針を決定しました！

京都府教育委員会では、今後、中長期的にみて少子化傾向が顕著な丹後地域において、府立高校の在り方について検討を重ねてきたところですが、地域の生徒数の減少が急速に進む状況を踏まえ、方向性を定めた上で、具体的な検討に入るべき時期にきていると考え、このたび、次の4点を基本的な方針として決定したのでお知らせします。

なお、再編等に関する今後の検討につきましても、皆様にお知らせしながら進めていきたいと考えており、生徒一人一人の希望進路の実現に向けたより魅力ある高校教育の推進に取り組んでまいります。

1 学舎制の導入 ～「地域に学校を残し、学校・生徒・地域をつなぐ新たな高校へ」～

多様な教育課程を編成し、将来の地域を支える人材を育成するという高校の役割を果たすため、一定の生徒数、教職員数を維持するとともに、通学の利便性にも配慮して、現在の校舎を活用する学舎制を導入します。

【対象校】 宮津高校と加悦谷高校、網野高校と久美浜高校

◇学舎制の導入に向け、今後、次のことについて具体的な検討や、高校、関係機関との調整を進めていきます。

- ・教育の内容（設置学科や教育課程、授業・学校行事・部活動等学舎間での連携など）
- ・学校名・校章・校歌・制服など再編に当たり検討・整理が必要なこと

◇学舎制を導入しない海洋高校、峰山高校についても、教育内容の充実に向けて検討を進めていきます。

【宮津・与謝地域】



宮津高校
(普通科、建築科)



加悦谷高校
(普通科)

学舎制

【宮津】普通科教育の充実を図る。建築科の在り方について検討する。
【加悦谷】普通科教育の充実を図る。
(国際や福祉・看護等の新しい教育内容も検討)



海洋高校 (海洋科学科、海洋工学科、海洋資源科)

現在の教育内容を継承しつつ、充実を図る。

【京丹後地域】



網野高校
(普通科、企画経営科)



久美浜高校
(総合学科)

学舎制

【網野】普通科教育の充実を図る。
【久美浜】現総合学科の各系列を踏まえた教育内容の充実を図る。
<共通>企画経営科や総合学科生産科学系列の教育内容を継承・発展させ、学舎間で連携した地域産業（観光・農業等）の振興に資する教育の在り方を検討する。



峰山高校 (普通科、産業工学科(機械))

普通科教育の充実を図る。機械を主とした工業教育の充実を図る。(機械以外の新しい教育内容も検討)

※ () は現在の設置学科

2 京都フレックス学園構想に基づく学校づくり

各分校での取組を継承しつつ、その機能を集約して教育内容の充実を図るため、現峰山高校弥栄分校の校地において、宮津高校伊根分校、峰山高校弥栄分校、網野高校間人分校の3校を統合し、個々の生徒のニーズに応じた柔軟な教育を行う京都フレックス学園構想に基づく学校づくりを行います。

今後、学校体制や教育内容などについて、具体的な検討を進めていきます。

宮津高校伊根分校(昼間定時制：普通科)

峰山高校弥栄分校(全日制：農園芸科・家政科)

網野高校間人分校(昼間定時制：普通科)



弥栄分校校地



単位制による柔軟な教育システム

(規則等では昼間定時制に位置づけ)

弥栄分校校地の教育環境や現在の教育実践（農業・家庭）を活かした教育内容等を検討する。

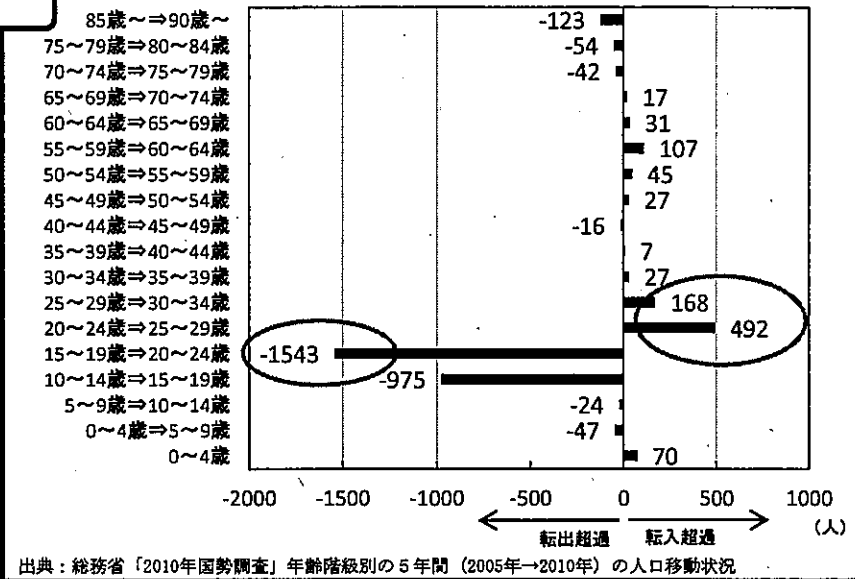
※ () は現在の課程、設置学科

3 「地域創生教育推進プログラム」の実施

丹後地域の課題（人口動態より）

府が平成27年10月に策定した「京都府人口ビジョン」によると、丹後地域の人口は、大学進学時を含む15～19歳の転出が大きく、20～29歳の転入があるものの、全体として減少しています。（右図参照）

子どもたちに、自分の住む町だけでなく、広く丹後地域のことを知ること、高校・大学等を卒業後に、地域で生活し、地域を支えるという意識を醸成することが学校教育にも求められており、そのために、府・地元市町・企業・大学等が連携していく必要があります。



このため、高校の再編と併せて、将来の地域を支える人材を育成するため、府北部地域の振興に参画している府内の大学や特色ある取組を行っている他府県の大学、地元市町、企業など関係機関と連携し、広く丹後地域のことを学ぶ教育活動「地域創生教育推進プログラム」を丹後地域の全ての府立高校で実施していきます。

【プログラムの内容】

- 地域学習（自然・文化・産業・市町の取組などについて学ぶ）
- 地域研究（探究活動、学校間での成果の交流・発表など）
- 地域連携・地域貢献活動
- 地域職業体験（幅広い分野でのソーシャルインターンシップ）

4 実施時期

平成32年度から実施することとし、平成29年度から具体的な検討・調整等を行っていきます。なお、大幅な変更を伴わない学科改編等については、先行して実施することもあります。



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	再編実施 平成32年度
現在の高校 に入学して 卒業	中学校3年 → 中学校2年 → 中学校1年	高校1年 → 中学校3年 → 中学校2年	高校2年 → 高校1年 → 中学校3年	高校3年 → 高校2年 → 高校1年	(定:高校4年) → 高校3年 → 高校2年
再編後の 高校に入学	小学校6年 → 中学校1年	→ 中学校2年	→ 中学校3年	→ 高校1年	→ 高校2年

再編等に関する今後の検討につきましては、引き続きNEWSを発行するなど皆様にお知らせしながら進めてまいります。

お問い合わせ:

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府教育庁指導部高校教育課
☎075-414-5857

(ホームページ)



